
2024年3月期第1四半期 決算説明会 ～中期経営計画『NEXT C⁴』の概要～

2023年7月28日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

証券コード: 4299 東証プライム市場

<https://www.himacs.jp/>

目次

- 1 2024年3月期
第1四半期決算概要(連結)
 - 2 2024年3月期 業績予想(連結)
 - 3 中期経営計画(NEXT C⁴)の概要
(2023~2025年度)
 - 4 東京証券取引所の市場選択
- Appendix (四半期推移)

1

2024年3月期 第1四半期決算概要(連結)

損益計算書(連結)

- 売上高 : 前期末から続く次期受注案件の立ち上がりの遅れが響き、減収
- 利益面 : 本年度より社員の給与水準を引き上げるなど、コスト増加
売上総利益率は、20.5%と前年度と同水準を維持
一方、大幅に増員した新卒採用者の人件費・教育費用の増加の影響もあり、販管費が増加し、減益

(百万円)

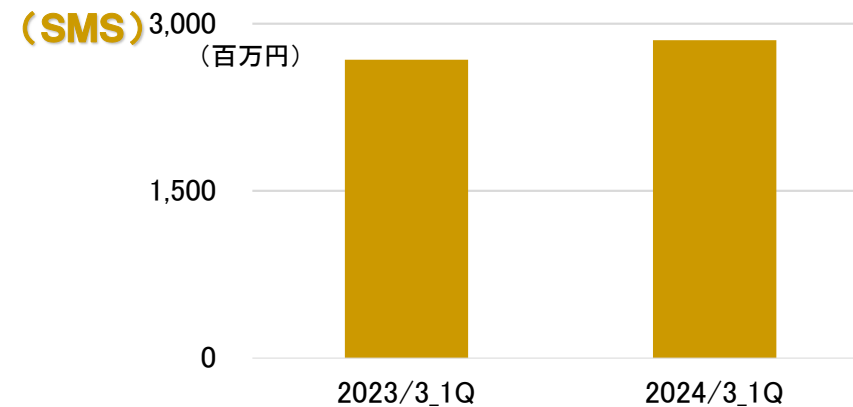
	2023/3期 第1四半期累計		2024/3期 第1四半期累計		比較増減	
	(構成比率)		(構成比率)		(額)	(率)
売上高	4,437	100.0%	4,335	100.0%	▲102	▲2.3%
売上原価	3,527	79.5%	3,448	79.5%	▲79	▲2.2%
売上総利益	910	20.5%	887	20.5%	▲23	▲2.5%
販管費	508	11.5%	602	13.9%	+94	+18.5%
営業利益	402	9.1%	285	6.6%	▲117	▲29.1%
経常利益	404	9.1%	287	6.6%	▲117	▲29.0%
四半期純利益	276	6.2%	196	4.5%	▲80	▲29.0%

サービス分野別売上高(連結)

- **SSS** : クレジット案件の立ち上がりの遅れ
- **SMS** : 証券及び生保のDX案件の拡大

(百万円)

サービス分野	2023/3期 第1四半期累計	2024/3期 第1四半期累計	比較増減	
	(構成比率)	(構成比率)	(額)	(率)
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	1,760 (39.7%)	1,484 (34.2%)	▲275	▲15.6%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	2,677 (60.3%)	2,851 (65.8%)	+173	+6.5%
合計	4,437	4,335	▲102	▲2.3%



業種別・顧客別売上高(連結)

- 金融向け : Sier経由で横這い、エンドユーザー取引で減少
- 非金融向け : Sier経由及びエンドユーザー取引ともに拡大

(百万円)

業種別	2023/3期 第1四半期 累計 (構成比率)	2024/3期 第1四半期 累計 (構成比率)	増減率
金融小計	3,049 (68.7%)	2,878 (66.4%)	▲5.6%
■ 銀行	604	631	+4.6%
■ 証券	156	264	+70.0%
■ 保険	1,439	1,405	▲2.4%
■ クレジット	851	577	▲32.2%
非金融小計	1,388 (31.3%)	1,458 (33.6%)	+5.0%
■ 公共	313	325	+3.9%
■ 流通	286	349	+22.0%
■ その他	789	783	▲0.7%
合計	4,437	4,335	▲2.3%

(百万円)

顧客別	2023/3期 第1四半期 累計 (構成比率)	2024/3期 第1四半期 累計 (構成比率)	増減率
Sier	3,022 (68.1%)	3,037 (70.1%)	+0.5%
■ 金融	1,991	1,982	▲0.5%
■ 非金融	1,031	1,055	+2.4%
エンドユーザー	1,415 (31.9%)	1,298 (29.9%)	▲8.2%
■ 金融	1,058	896	▲15.3%
■ 非金融	357	402	+12.8%
合計	4,437	4,335	▲2.3%

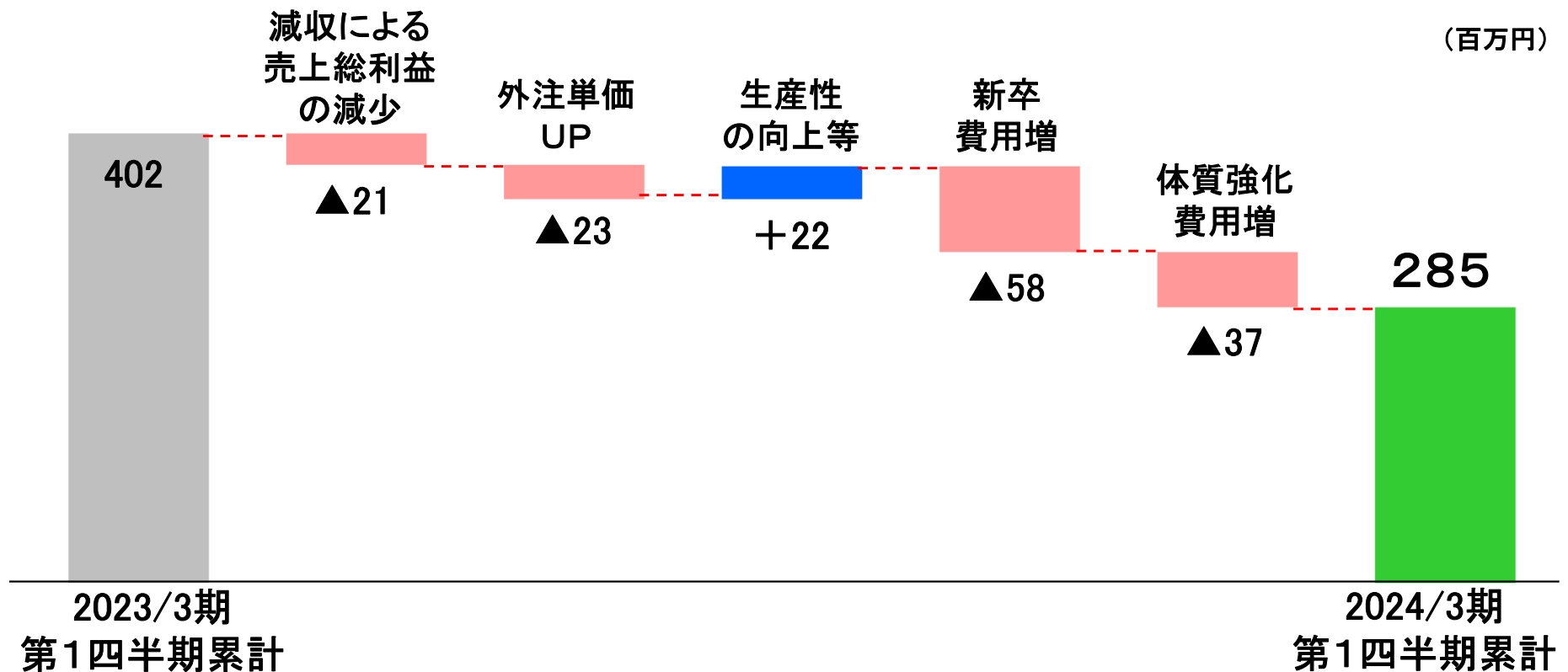
営業利益分析(連結)

<利益の増加要因>

- 生産性の向上等

<利益の減少要因>

- 減収による売上総利益の減少
- 外注単価のUP
- 新卒教育費用等の増加
- 体質強化費用の増加

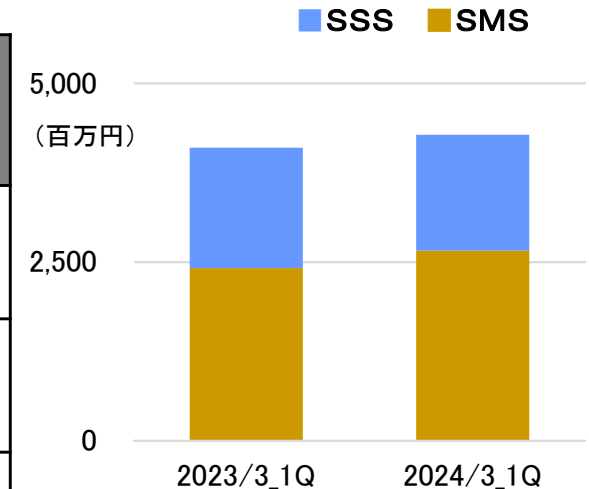


受注高及び受注残高の状況(連結)

受注高

(百万円)

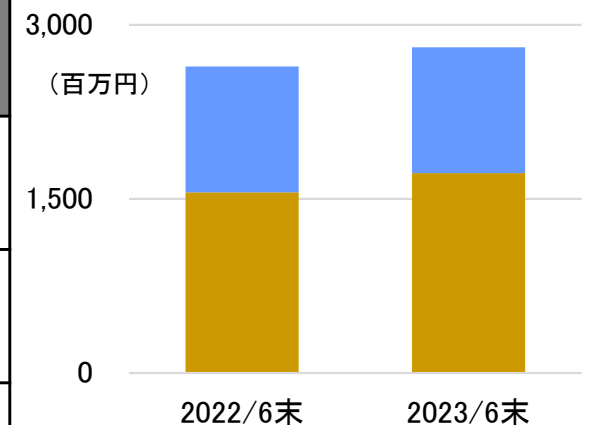
サービス分野	2023/3期 第1四半期累計 (構成比率)	2024/3期 第1四半期累計 (構成比率)	増減率
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	1,683 (41.1%)	1,622 (37.9%)	▲3.6%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	2,417 (58.9%)	2,660 (62.1%)	+10.1%
合計	4,099	4,282	+4.5%



受注残高

(百万円)

サービス分野	2022/6末 (構成比率)	2023/6末 (構成比率)	増減率
■ (SSS) システム・ソリューションサービス	1,085 (41.1%)	1,085 (38.6%)	▲0.0%
■ (SMS) システム・メンテナンスサービス	1,557 (58.9%)	1,723 (61.4%)	+10.6%
合計	2,642	2,808	+6.3%



2 2024年3月期 業績予想(連結)

2024年3月期 業績予想(連結)

- 2024年3月期 第2四半期及び通期の利益予想を修正
 ✓ 生産性の向上と売価改善に一定の見通しが立つ

(百万円)

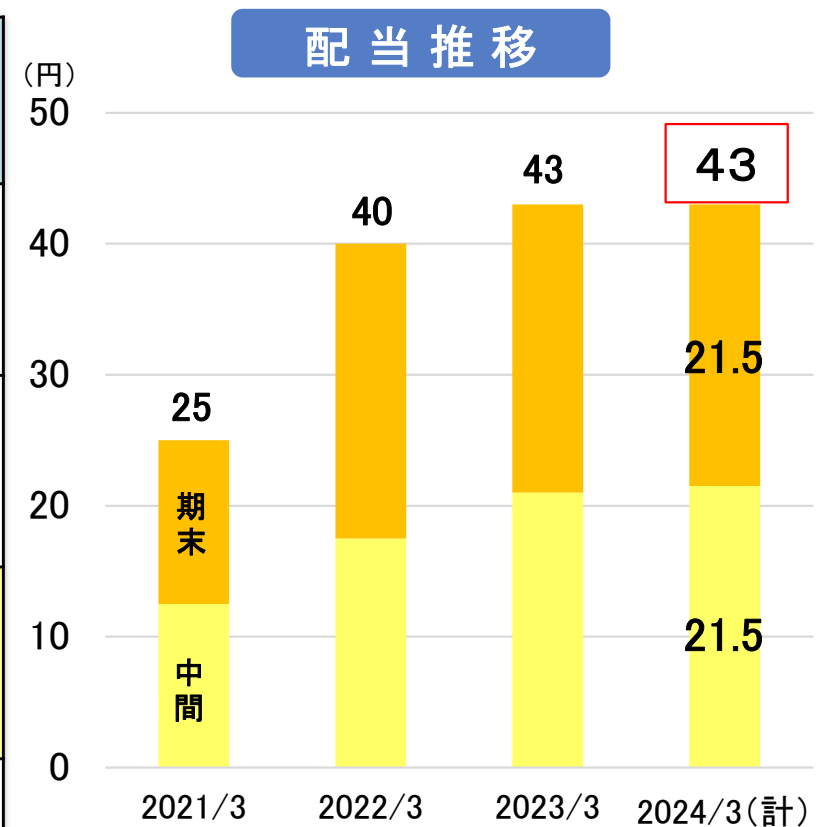
第2四半期(累計)	2023/3期 2Q実績	2024/3期 2Q予想			前期比
		(前回予想)	増加額	(修正後)	
売上高	8,794	8,840	—	8,840	+0.5%
営業利益	871	620	+40	660	▲24.2%
経常利益	874	622	+43	665	▲23.9%
当期純利益	597	420	+35	455	▲23.8%
EPS	51円38銭	36円10銭	—	39円07銭	—

通期	2023/3期 実績	2024/3期予想			前期比
		(前回予想)	増加額	(修正後)	
売上高	17,331	18,150	—	18,150	+4.7%
営業利益 (利益率)	1,833 (10.6%)	1,580 (8.7%)	+100	1,680 (9.3%)	▲8.3%
経常利益 (利益率)	1,844 (10.6%)	1,585 (8.7%)	+105	1,690 (9.3%)	▲8.3%
当期純利益 (利益率)	1,294 (7.5%)	1,080 (6.0%)	+70	1,150 (6.3%)	▲11.1%
EPS	111円27銭	92円83銭	—	98円69銭	—

配当の状況

- 配当の基本方針：安定的かつ適正な利益還元を継続して実施し、連結配当性向40%を目安とする
- 2024年3月期 年間配当金：**43円** (据置、配当性向**43.6%**)

	2023/3期	2024/3期 (計画)	増減
中間配当	21円	21円50銭	+0.5円
期末配当	22円	21円50銭	▲0.5円
年間合計	43円	43円	±0
配当性向	38.6%	43.6%	—



※2020年10月1日の1:2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

3 中期経営計画(NEXT C⁴)の概要

(2023~2025年度)

NEXT C⁴ のキーメッセージ

これまでの「中長期経営計画C⁴ 2022」をベースとし、
更なる、**既存顧客** との **取引領域** の **拡大** による深耕を
図ってまいります。

C⁴

“C Fourth Power” (Cフォースパワー)

C: Cooperative

C: Creative

C: Collaborative Conflict

C: Challenge

社員の総力、創意工夫・知恵を徹底的に出しあって、
新しい価値・新しい方策を**生み出す**ため、
お互いに刺激し合い、**侃々諤々の議論**を使いこなし、
目標達成に向かって**挑戦**する。
高い山・厚い壁でも、突破する小さな可能性がある限り、**突き進む**。

ハイマックスの方向性

『ハイマックスは
ソフトウェア技術・デジタル技術をお客様へ提供し、
ベスト・パートナーとしてお客様とともに
持続的未來の実現に向け成長します。』

◆目指す企業像

DX技術要素を核とし、

実装能力に裏打ちされた技術力を
恒常的に提供できる企業

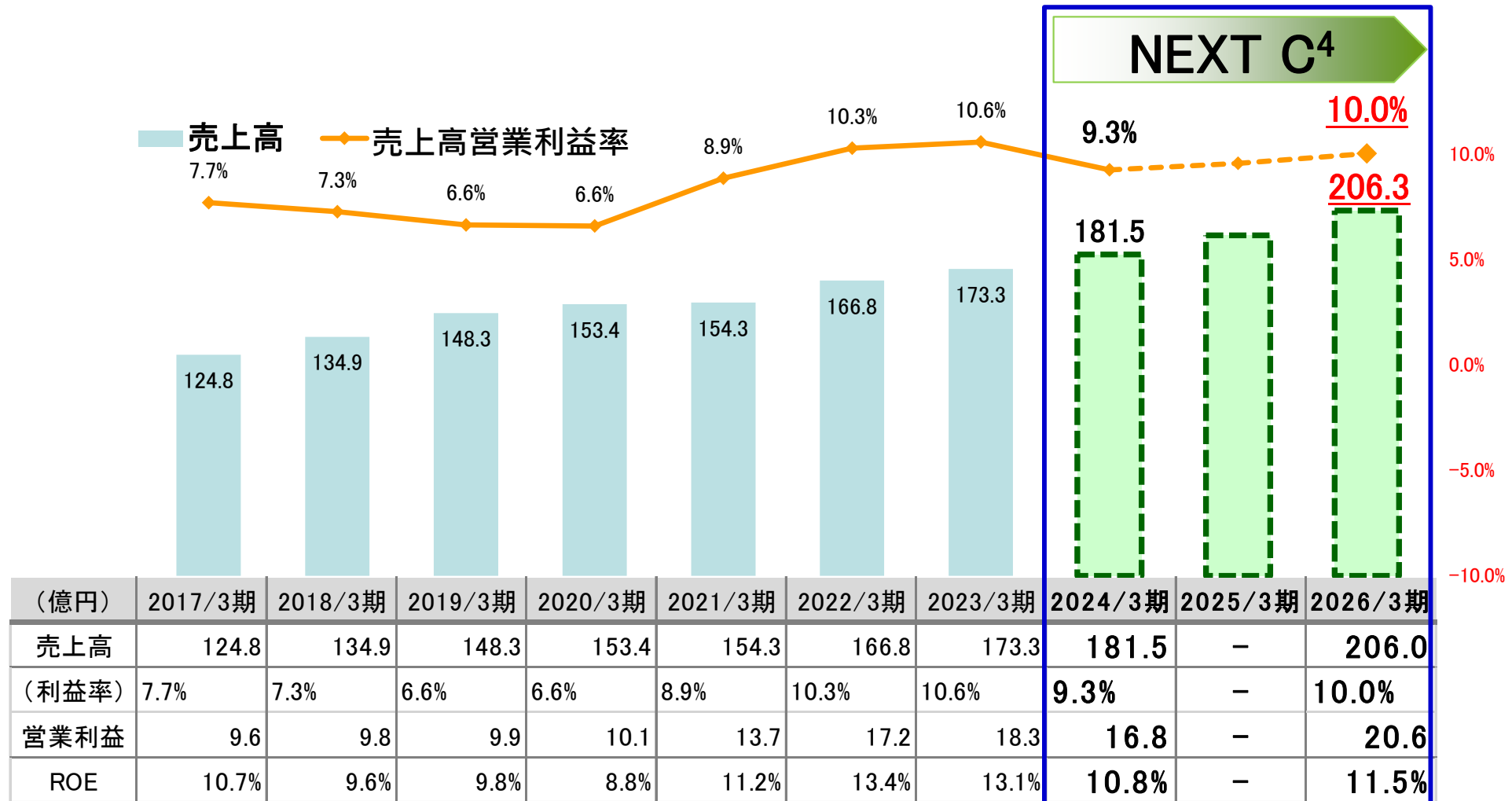
中期経営計画(NEXT C⁴)の概要

◆ NEXT C⁴の基本戦略

- ① 主力の受託開発事業(コアビジネス)の拡大
⇒ **非金融分野比率** / **エンドユーザー取引比率(30%)** 維持
- ② デジタル技術を核としたDX案件の積極的受注
⇒ **DX案件売上高比率(20 ⇒ 25%)**
- ③ 人的資本への投資を継続実施
⇒ DX技術案件を専門的に取り扱う部門を設置
当該部門にて、
DX技術者 **30%** 増員、DX技術系の資格保有数 **90%** 増
⇒ 全社施策としてPL人数 **20%** 増員
- ④ 開発人員の増強
- ⑤ 更なる事業拡大に寄与する業務・資本提携やM&Aの遂行

中期経営計画(NEXT C⁴)3ヶ年業績計画

- 売上高 : 200億円超えの到達
- 売上高営業利益率 : 10%台への回帰



4

東京証券取引所の市場選択

東京証券取引所の市場選択

- 当社は、**スタンダード市場** を **選択** いたしました

【選択の理由】

1. これまで、株主還元を重視し、その充実化に取り組んで参りました。
今般、スタンダード市場の選択により、
株主還元の手段の**多様化**が図れると判断いたしました。
 2. スタンダード市場に移行後も継続して、
持続的な成長と**コーポレート・ガバナンス体制強化**を通じて、
中長期的な**株主価値の向上**に取り組む。
 - ✓ 中期経営計画『NEXT C⁴』遂行し、連結売上高 **200億円超え**
 - ✓ 10年先に連結売上高 **300億円超え** を目指す
- **スタンダード市場への移行予定日** : 2023年10月20日

四半期推移

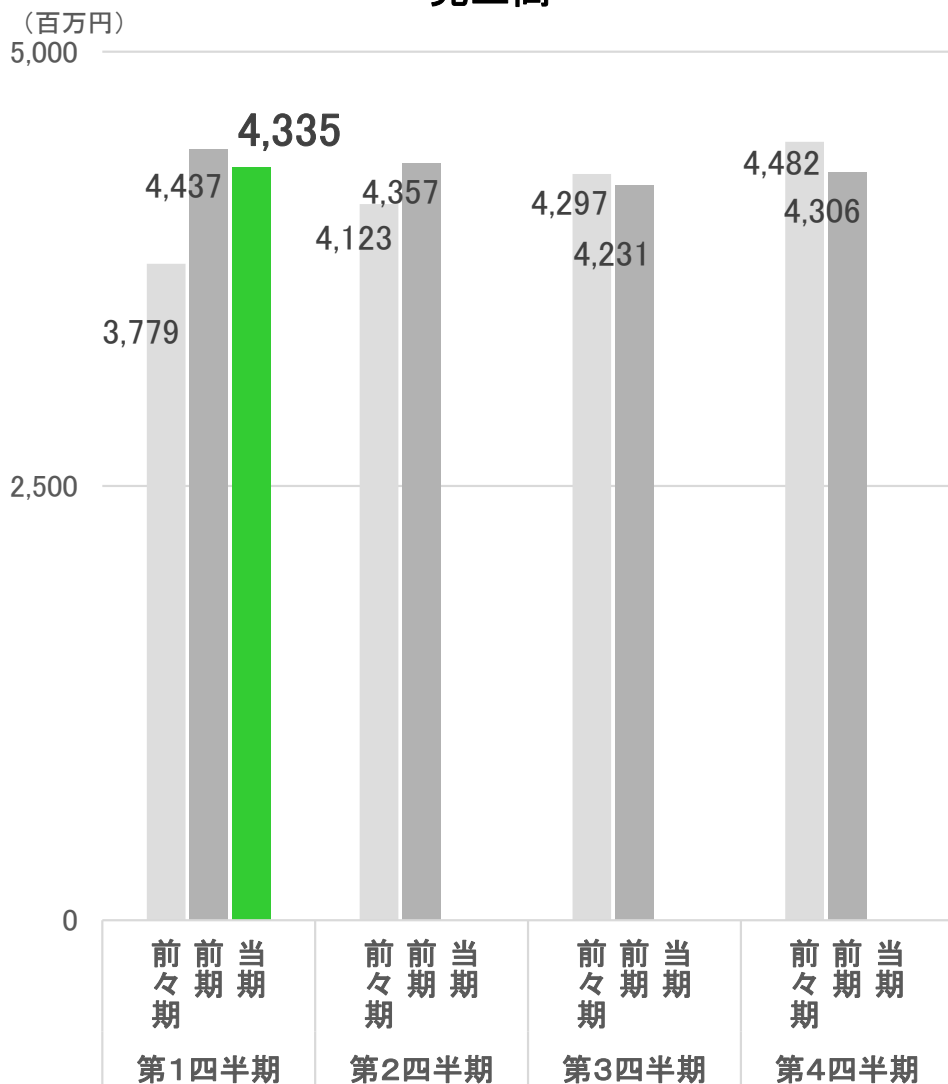
連結四半期推移(売上高・営業利益)



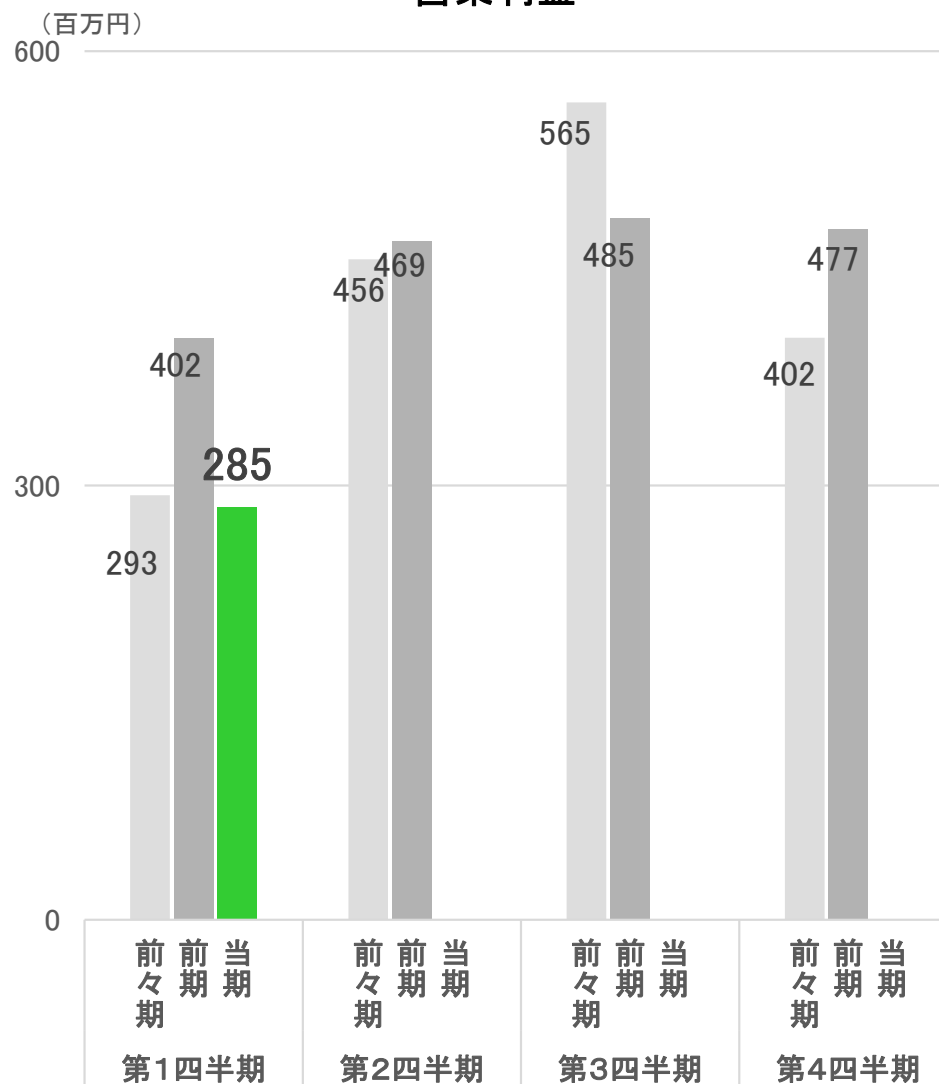
YOUR BEST PARTNER.

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期

売上高

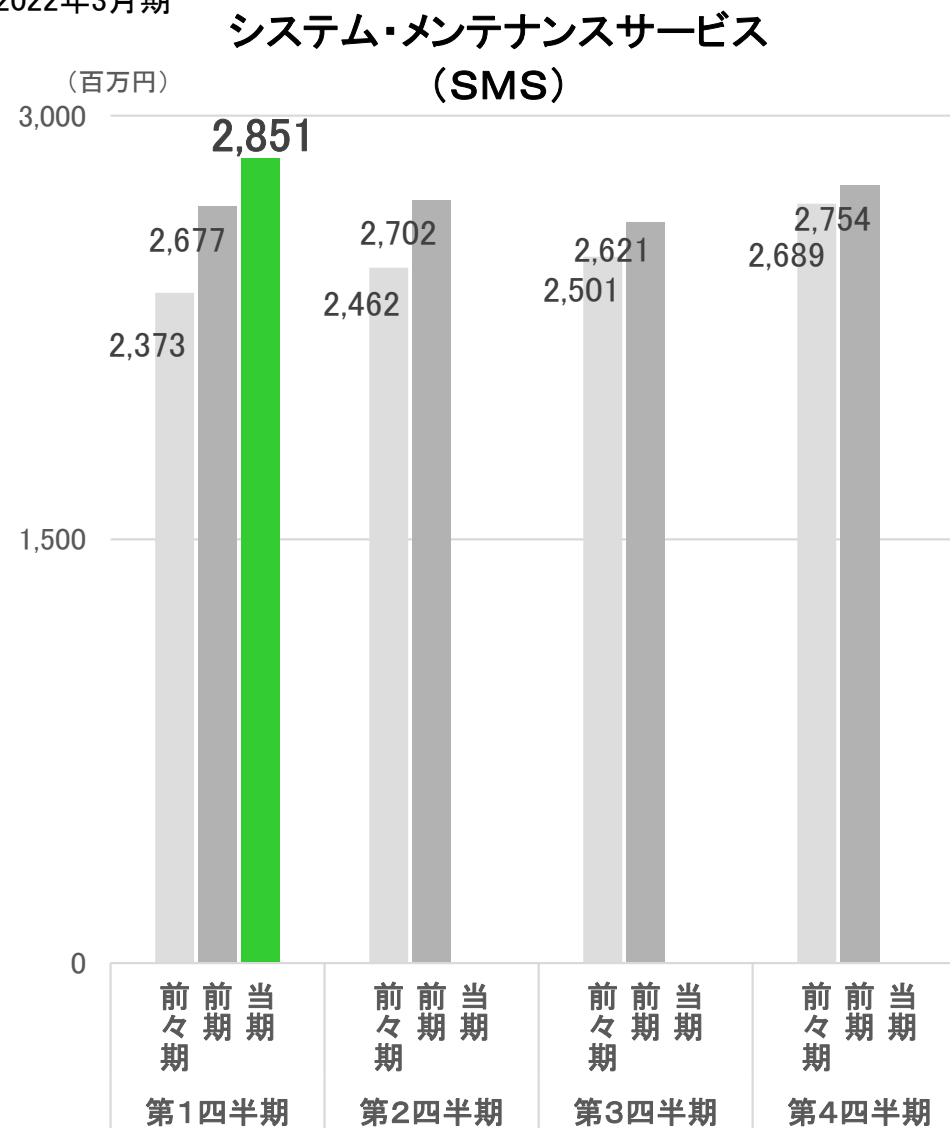
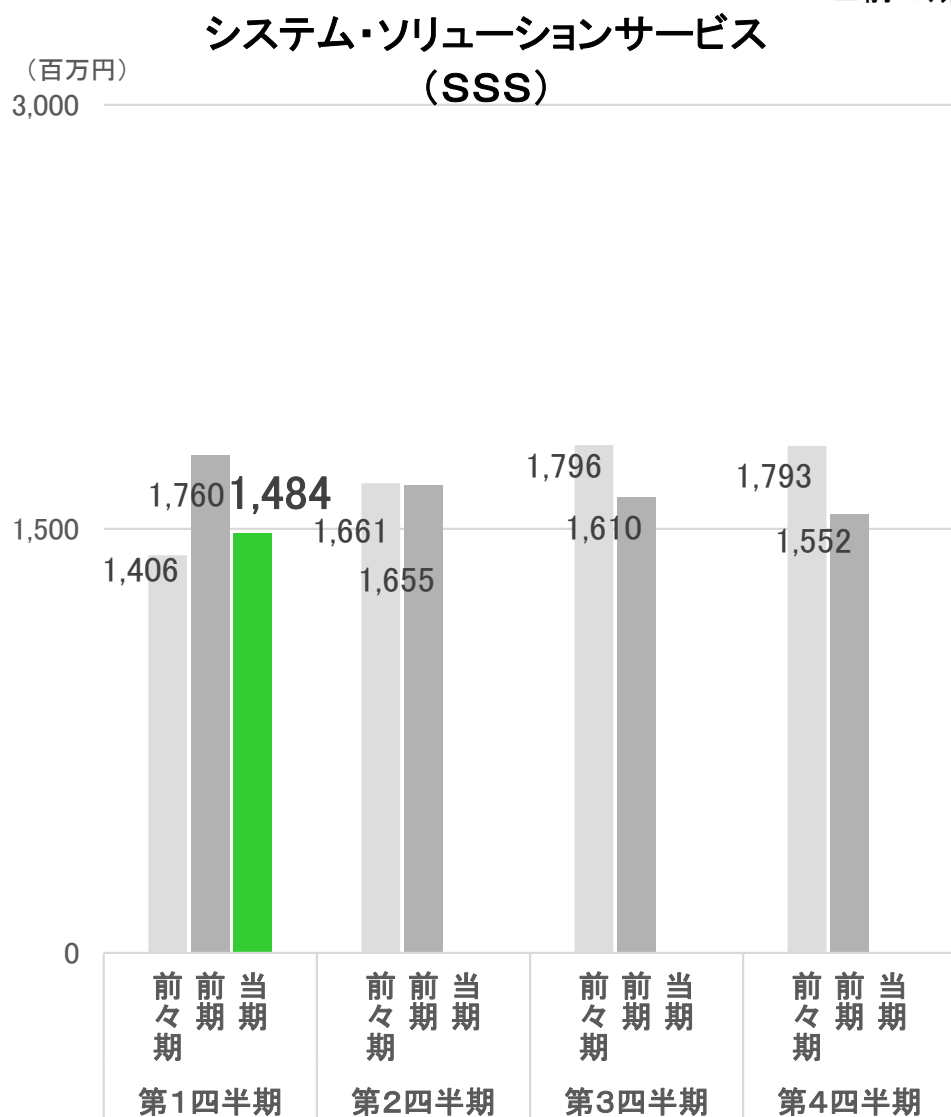


営業利益



連結四半期推移(サービス分野別売上高)

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期



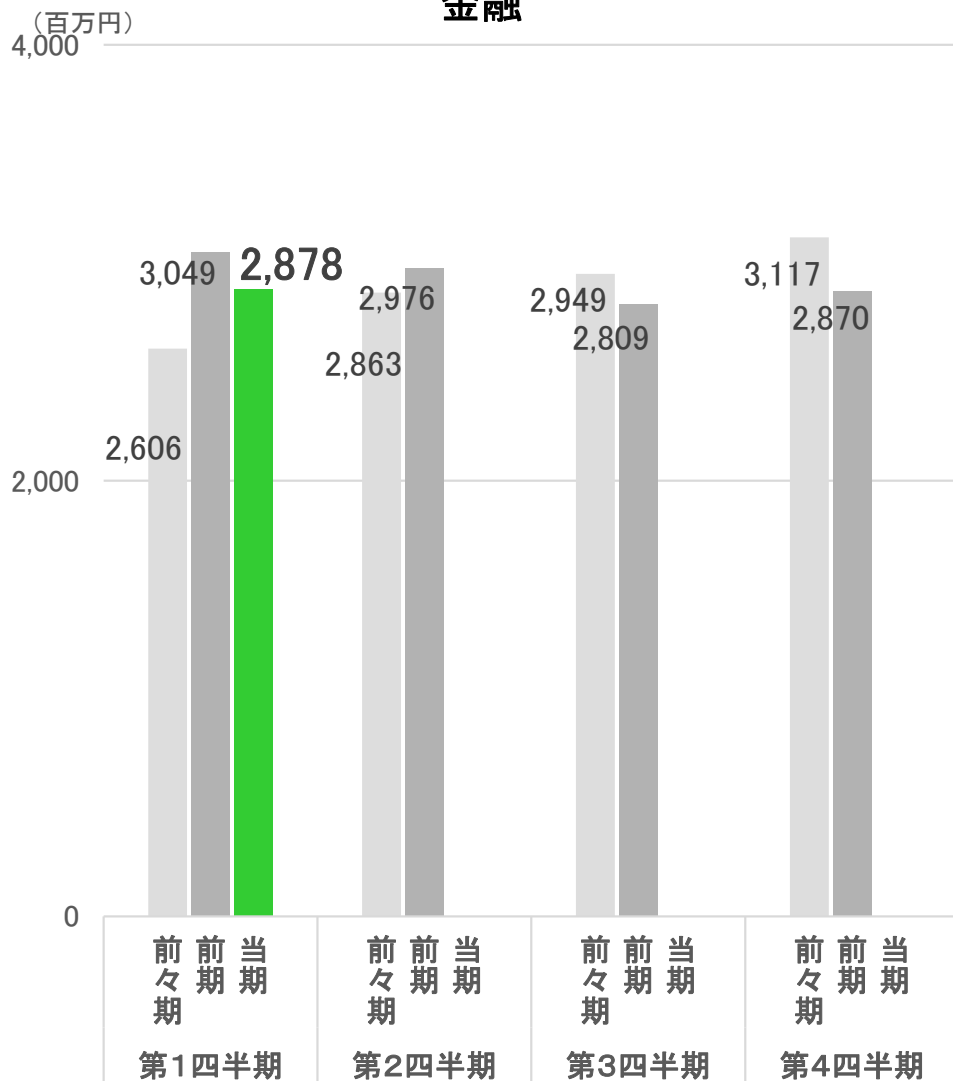
連結四半期推移(業種別売上高)



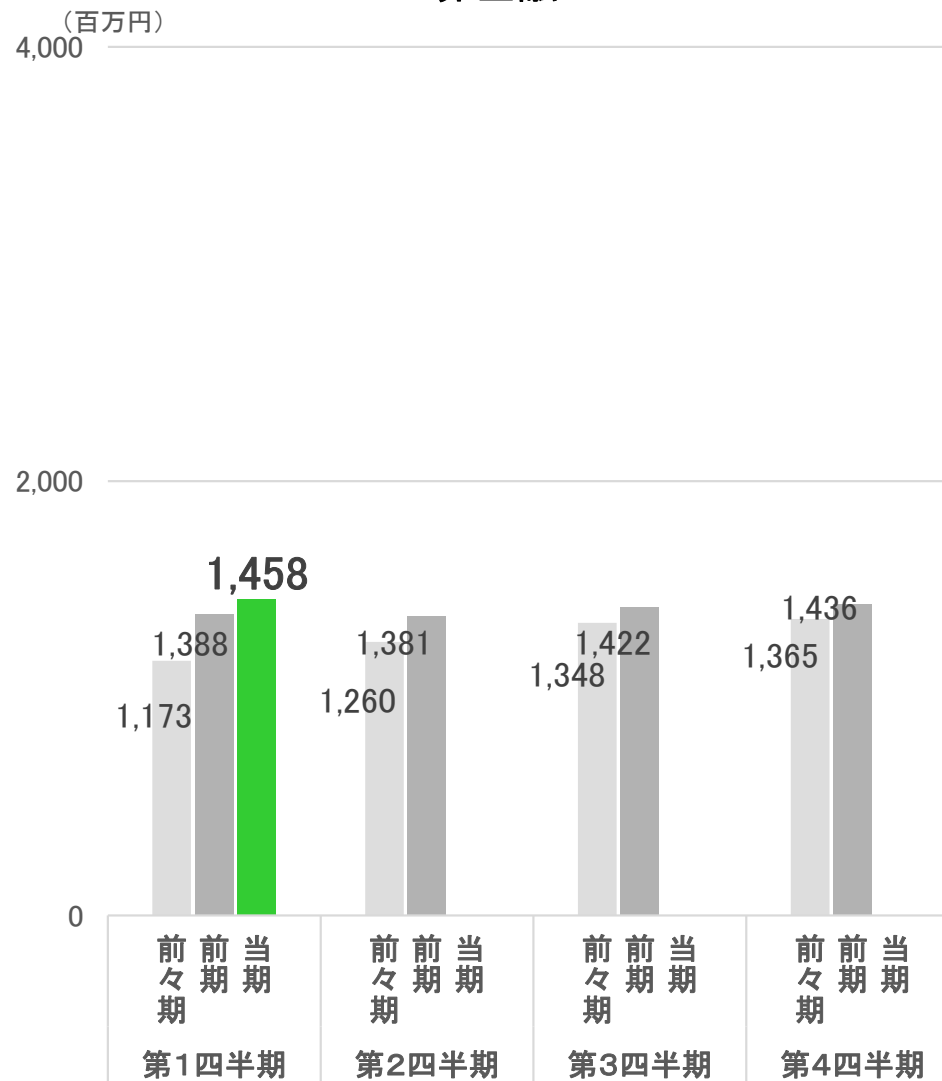
YOUR BEST PARTNER.

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期

金融



非金融



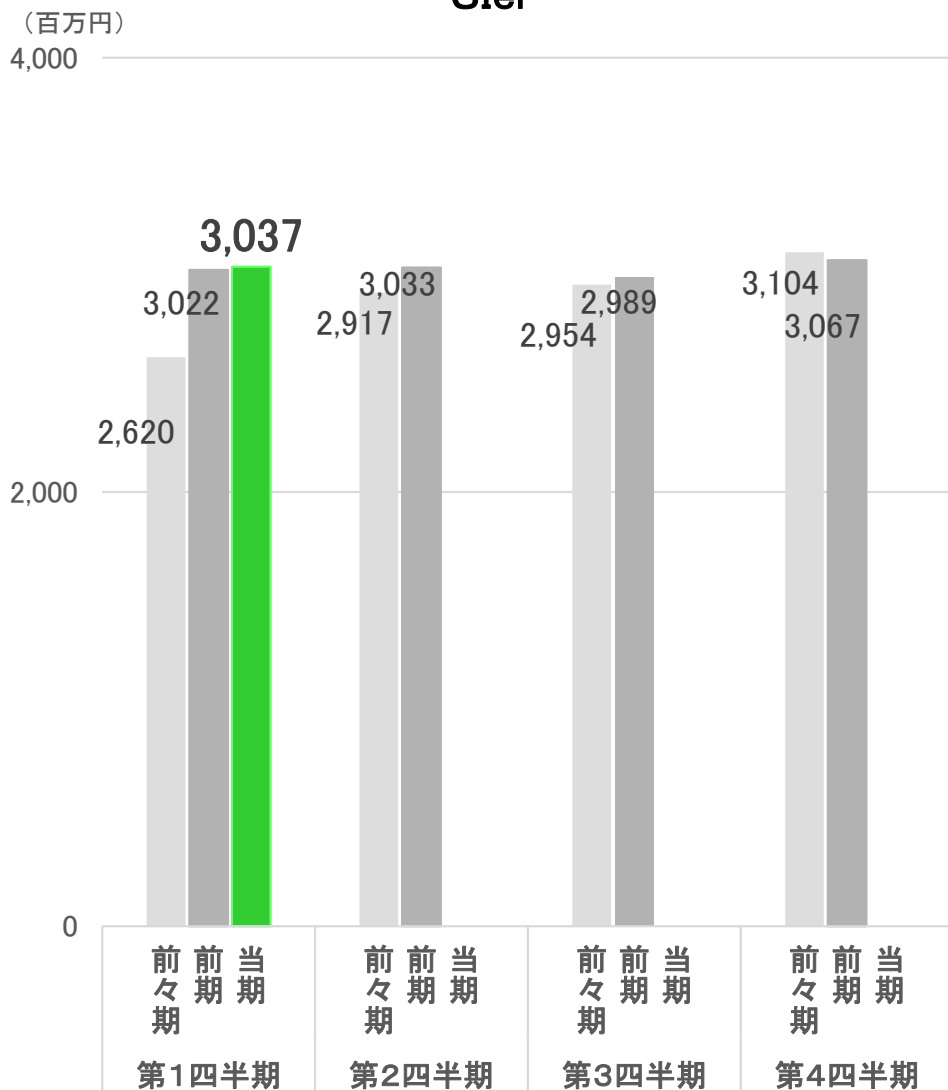
連結四半期推移(顧客別売上高)



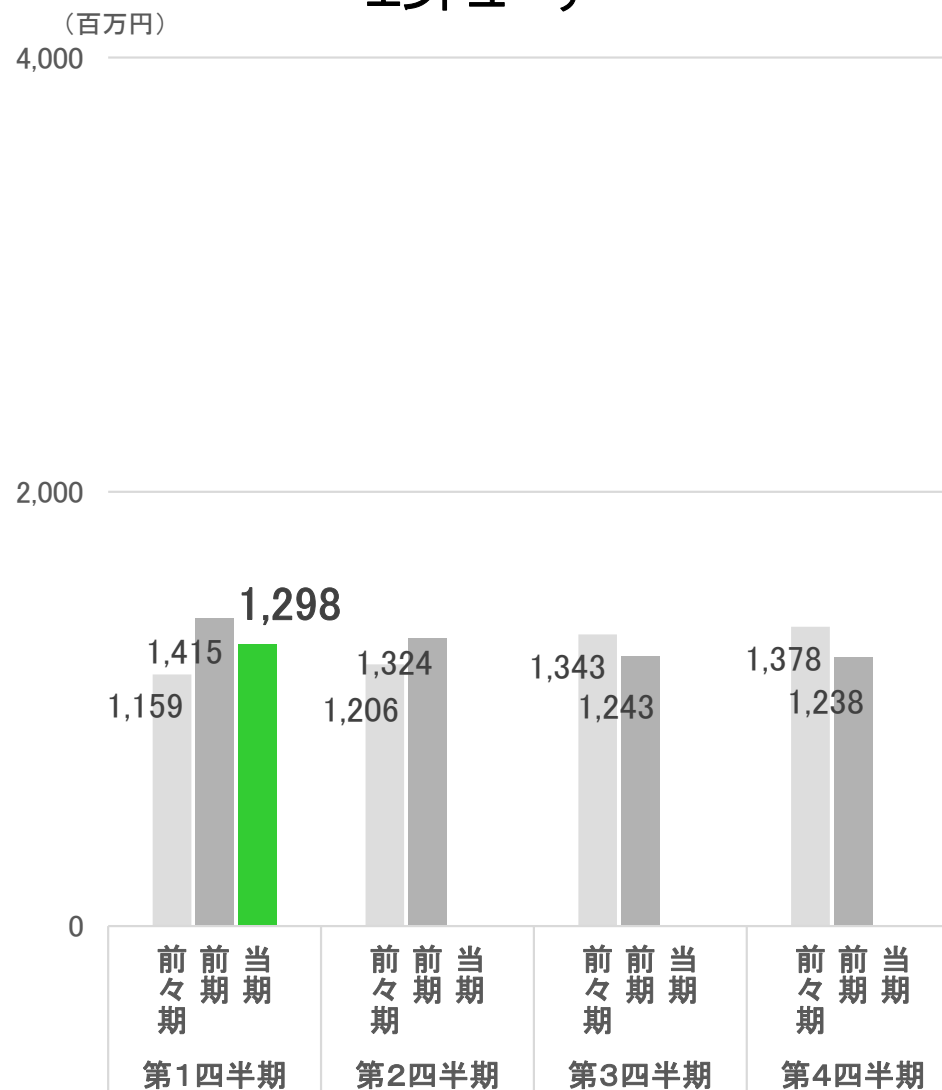
YOUR BEST PARTNER.

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期

Sier



エンドユーザー



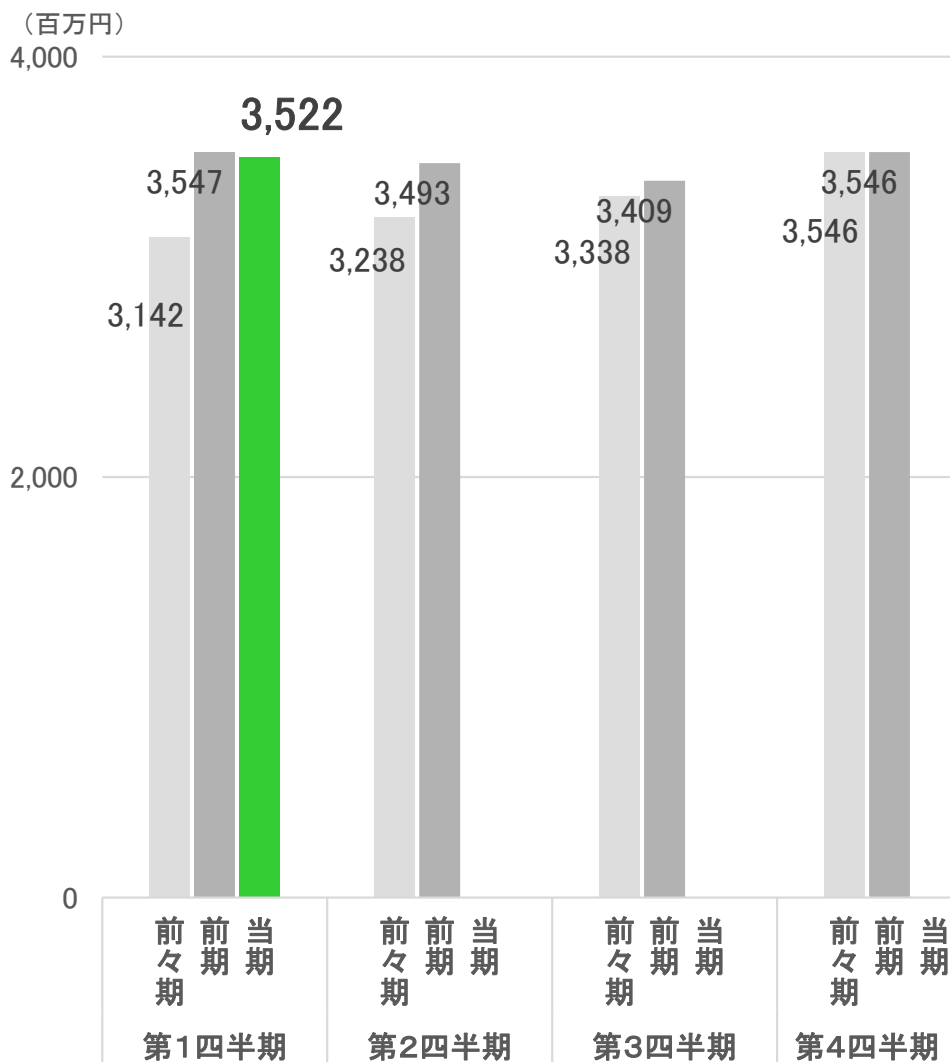
連結四半期推移(コア事業・DX別売上高)



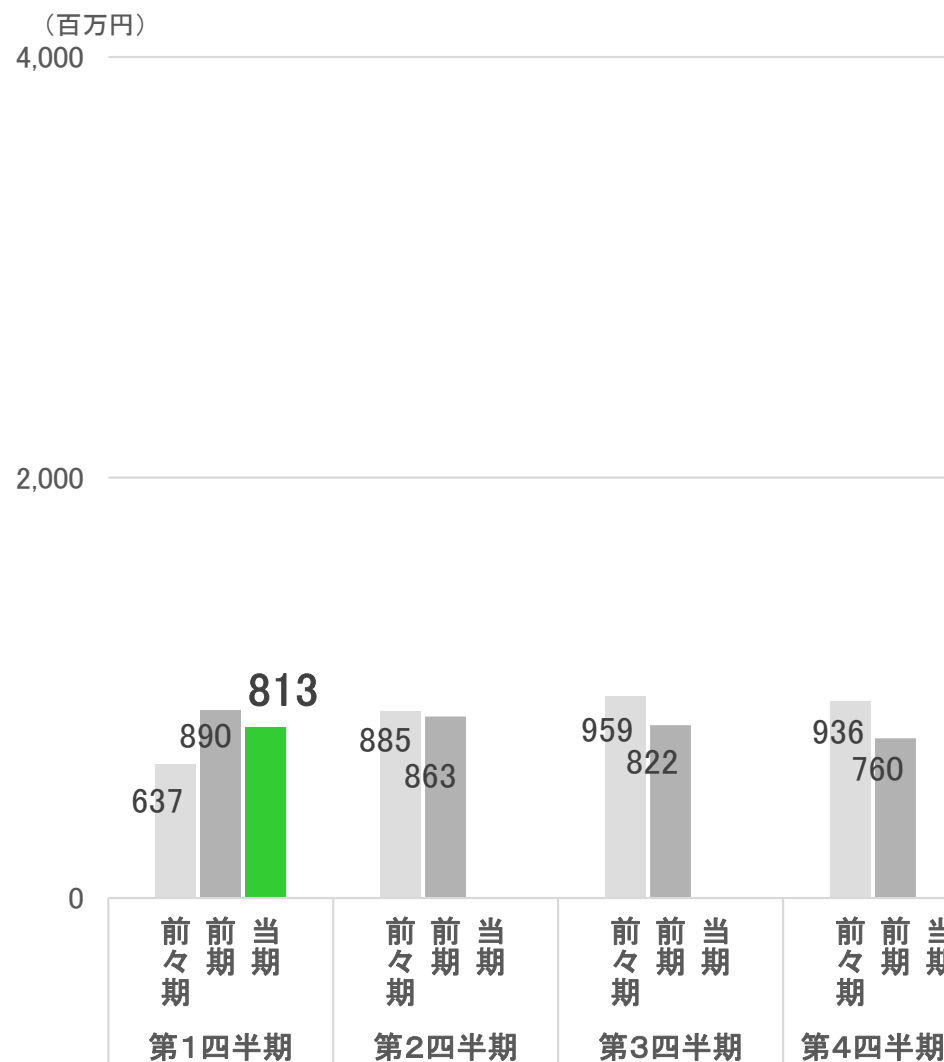
YOUR BEST PARTNER.

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期

コア事業



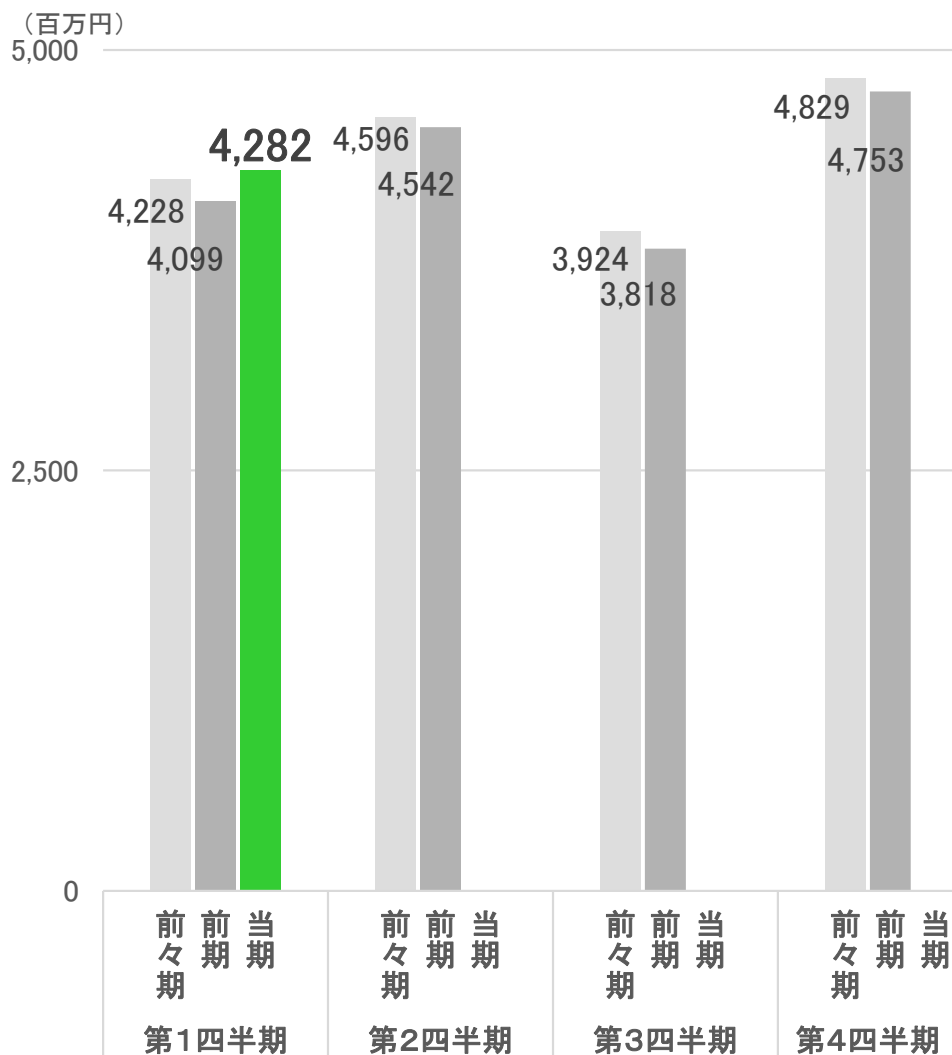
DX



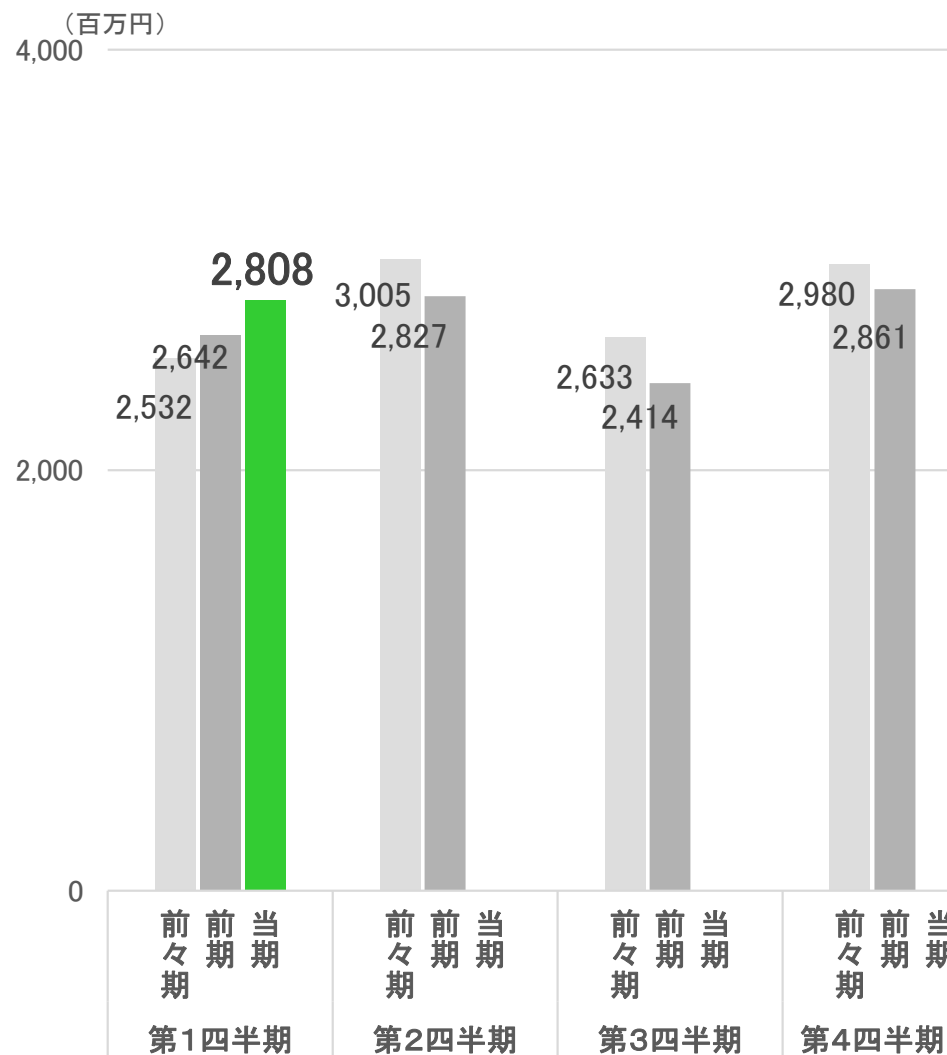
連結四半期推移(受注高・受注残高)

■ 当期:2024年3月期
 ■ 前期:2023年3月期
 ■ 前々期:2022年3月期

受注高



受注残高



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2024年3月期第1四半期 決算説明会 ～中期経営計画『NEXT C⁴』の概要～

2023年7月28日

株式会社 **ハイマックス**

IRに関するご質問・お問合せ先

経営企画本部 IR室

TEL045-201-6655

ir@himacs.co.jp